

世界をつなぐ一本の道。

今年4月、オランダのホストタウンに登録された三芳町。今月は、登録に尽力された淑徳大学の女子柔道部とオランダ交流事業の特集です。



町

内唯一の大学、淑徳大学。女子柔道の強豪校で、埼玉キャンパスにある武道場では26人の部員達が、日々練習で汗を流し、互いに切磋琢磨し合っています。

監督は全日本コーチ

監督を務めるのは、野瀬英豪氏(40)。選手時代は全日本選手権や国際大会など、数多くの大会で優勝経験を持つ日本でも



淑徳大学女子柔道部員と野瀬英豪監督。12月のオランダチームの受け入れを前に、日々厳しい鍛錬を積んでいます。



東アジア選手権に出場経験もある次期主将の浅岡美名さんの得意技は、一瞬で決める大外刈り。



昨年、事前合宿を行うために淑徳大学を訪れたオランダ女子柔道チームのコーチら。大学で練習を重ねてきた結果がホストタウンの登録につながりました。

三芳町を好きになって欲しい

三芳町がオランダのホストタウンとして登録されたことで、学生たちが海外に目を向ける機会が増え、国際交流がより豊かになることを望みます。

オランダチームを受け入れる12月のキャンプでは、練習だけでなく、都心から30km圏内にありながら、農業が盛んで自然豊かな町の様子を見てもらい、オランダの選手たちに三芳町を好きになってもらいたいです。

淑徳大学女子柔道部
野瀬 英豪 監督 (40)



指折りの実力者です。2010年に淑徳大学女子柔道部の監督に就任し、2016年からは全日本ジュニアのコーチも務める野瀬監督。監督の指導を仰ぐと、学外から淑徳大学に足を運



稽古前のあいさつ。武道場は凍とした空気にもまれ、自然と背筋が伸びます。

ホストタウン登録に尽力

び、教えを乞う選手も少なくありません。

2018年4月、三芳町は2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンに、オランダを相手国として登録されました。ホストタウンとは、大会参加国・地域と経済的、文化的な相互交流を図る自治体のこと。このホストタウン登録に尽力されたのが、長年、オランダ女子柔道チームと

お互いを高め合う良きパートナー

交流を続けてきた淑徳大学です。オランダと言えば、世界一背が高い国として知られ、体格差を活かした柔道を得意としています。そのオランダチームが淑徳大学と交流を深める理由。それは、「日本の柔道を学びたいから」と野瀬監督は言います。「柔よく剛を制す」という言葉がありますが、日本のしなやかで巧みなテクニックを学ぶことができる練習は、確かに意味のあることでしょうし、それはまた、淑徳大学の選手にとっても同じ有意義な時間です。「柔道強豪国のトップ選手と

欠かせない存在

淑徳大学とオランダチームの交流は、単に柔道の技術を学ぶ合うだけではありません。同じ時間を共有し、文化や感覚の違いに気づき、それを理解し吸収することで、新たな発見や成長が生まれていきます。三芳町を盛り上げていくために、国際交流豊かな淑徳大学女子柔道部は欠かせない存在です。